

ほ ど 教育センター通信

火床の火の心を紡ぐ

第4号（通算76号）
令和2年7月22日
三条市小中一貫教育推進課
教育センター 発行



四つ葉学園

6月26日 井栗小学校 三条市重点教科（算数・数学）研修の公開授業の様子

「自分の命は自分で守る」

教育センター統括指導主事 青木利恵子

7.13水害の際、私は大崎小学校（現大崎学園）に勤務をしていました。今まで経験したことがない降り方の雨に驚いたことや、当時の校長の指示で避難してきた人へ学校田でつくった米を職員でおにぎりにして握ったことなどを思い出します。平成16年という年は、中越地震もあり、教職員一人一人が災害について様々な経験をし、教訓を得た年だったのではないのでしょうか。

「釜石の奇跡」で知られる片田敏孝特任教授（東京大学大学院）は、次のように避難の3原則を唱えられています。

- 1 想定にとらわれないこと
- 2 最善を尽くすこと
- 3 率先避難者になること

釜石の子どもたちは、その教えに則り、東日本大震災が起こった際、避難場所を次々と変え、高台を目指して走りました。そんな子どもたちの姿を見て、近隣住民も倣い、多くの命が救われたのです。

近年、想定を超える自然災害が日本全国で起こっており、防災教育の重要性を再認識させられます。私たちは、釜石の子どもたちのように「自分の命は自分で守る」ことのできる子どもたちを育てていかななくてはなりません。

今年度は、防災教育授業研修会を大崎学園に引き受けていただきました。11月17日（火）の研修会では、片田敏孝特任教授の講演会もあります。まだ、お話を聞かれたことがない方は、是非、講演会にお越しください。

一ノ木戸ポプラ学園



「この問題はこうすると解けるよ。」
「なるほど。ありがとうございます。」

6月26日に「放課後学習教室」が実施されました。定期テスト前に、中学生が小学校を訪れ、小学校の先生からも勉強を教してもらいました。中学生は懐かしさを感じながらも、定期テストに向けて集中して学習に取り組んでいました。今年度は定期テストの前に年間6日間実施する予定です。

瑞穂学園



6月19日に第1回瑞穂学園運営協議会が開かれました。協議会では、学園の児童生徒の気になる様子として「あいさつ」や「交通安全」についての話題が挙がりました。各校のCSディレクターを中心に、今後の「熟議」「協働」をどうするのか検討することが決まるなど、前向きな話合いの様子が見られました。

四つ葉学園



6月9日に授業研究会として、5年生英語の公開授業が行われました。子どもたちは英語で相手の好きな教科をたずねたり、自分の好きな教科を答えたりして、お互いのことを知ることができました。「こうなりたい」という願いや「やってみる価値があるな」と受け入れ、活動に向かうことも学習問題◎になると再認識しました。

さかえ学園



学園運営協議会で、フラワーロードの除草をすることが提案され、都合のつく委員の方が集まり、土曜日の早朝に作業をしました。4月には美しい水仙の花が咲きますが、この時期、草の丈が伸びてしまいます。委員の皆様から、学園の事業に積極的に参画いただき、子どもたちの活動の支えとなりました。

三条おおじま学園



学区安全見守り隊用に、新しいベストと帽子を購入し、運用が始まりました。

須頃小では早速、校長先生が着用して、下校する1、2年生の見守り活動を行いました。子どもたちは鮮やかなグリーンのベストを身に付けた校長先生を見つけ、元気なあいさつをして下校しました。今後、見守り活動への理解と協力の輪が広がり、子どもたちの安全につながることを期待されます。

大崎学園



7年生「水草を見て見ようか。ピントを合わせてみて。」

6年生「あっ、何か見えました！」

7年生「いいね、いいね。アオミドロだよ。スケッチしてみよう。」

6年生「ありがとうございます。」

大崎学園では、リトルティーチャー活動として、7年生が6年生に顕微鏡の使い方を説明しました。6年生が正しく顕微鏡を使うことができるように、丁寧に教えている7年生の姿が印象的でした。「上級生へのあこがれ意識」や「上級生の自己肯定感」が高まる素敵な時間となりました。

漢文出前講座

新潟県漢詩連盟の佐藤海山様（三条市在住）から、三条市内の小学校・中学校に漢文の出前講座をしてくださるとの申し出を受けています。既に、昨年度、森町小学校で出前講座を行っていただきました。

東京書籍の国語の教科書には『漢文に親しむ』（小学校6年生）、『漢詩』（中学校2年生）、『論語』（中学校3年生）の教材がそれぞれ掲載されています。漢文は児童生徒にとって最初は難しいと感じてしまいがちですが、専門の先生から授業を受けることで、漢文に対する興味・関心も高まることでしょう。また、三条市は「大漢和辞典」を作成した諸橋轍次博士生誕の地です。郷土の偉人についても学ぶことのできる講座です。2学期の授業に、本講座を是非、御活用ください。

申込は、三条市教育委員会教育センター青木（内線 249）が窓口となりますので、希望される学校は連絡をお願いいたします。



森町小学校出前講座の様子

特別支援教育研修 ～6月に実施した2つの研修について御紹介します～

特別な配慮に基づく児童生徒の支援研修（6月9日実施）

「基本から学ぶ『応用行動分析学』」 講師 新潟大学 教授 有川 宏幸 様

応用行動分析学の基本について、新潟大学教授の有川宏幸様から2時間半の御講義をいただきました。行動を定義し、主観を交えずに分析するという事、前後の事象を見極め環境設定を変えていくということなどを具体的に分かりやすくお話をいただきました。

日々起きる様々なトラブルに目が行きがちですが、有川先生の「ABA(応用行動分析学)は、Happyのためのテクノロジーです!」というメッセージで、より良い支援の方策を探り、実践しようと改めて感じた参加者が多かった研修でした。



特別な教育課程に基づく授業づくり研修（6月19日実施）

講師 県立月ヶ岡特別支援学校 教頭 川沼 正憲 様 教諭 西川 明子 様



発達障害に関する基本的な理解、具体的な対応、自立活動で使用できるソーシャルスキルトレーニングの教材や特別支援学校の授業例などを幅広く御紹介いただきました。参加者からは、「今、その子に必要なことを見極めて適切な目標を立て、支援を工夫したいと改めて思いました。」

「授業の実際の写真を見せていただき、とても参考になりました。」などの感想が寄せられました。御参加ありがとうございました。

三条市重点教科（算数・数学）研修 始まる

三条市では、本年度から市独自に重点教科を決めて、学力向上に資する研修に取り組むことにしました。当面の重点教科は、算数・数学、外国語（英語）です。算数・数学では、1回目の授業実践研修が、先月26日に、四つ葉学園で行われました。公開授業は井栗小学校で青柳道代先生が2年「大きい数のたし算とひき算」で行いました。子どもたちは皆、大変集中して学習問題に取り組んでいました。今回の実践研修で印象に残ったことを紹介します。

- 各学校から教員が参加して指導案検討が事前に行われた。三条市授業スタンダードのポイントを視点に建設的な意見が多く出された。それらの意見を参考に指導案が改善された。
- 井栗小学校は「学びを調整し主体的に学ぶ子どもの育成」を主題に研究を進めている。「学習を調整している姿」を①見通しをもつ、②解決する、③解決した後自己評価する、という3つの局面から具体的に描いていた。例えば「友達の考えと自分の考えを照らし合わせて、自分の考えをよりよいものへと修正している姿」が実際に見られた。それを支える要因として、互いの考えを書いたホワイトボードを見合い、仲間と交流する場があったことが考えられる（表紙の写真）。



参加者からは、「私自身も学習を調整する子を目指して日々の授業に取り組んでいきたいと改めて実感できました。」「指導案検討会をやってからの授業研究会と協議会だったので、大変ためになった。また、スタートラニングについて再認識できてよかったです。」「先生方が授業をどのように見ていたのかが分かり参考になりました。」などの声が寄せられました。